

“For Kids” フラン 2025

下関市こども計画

下関市子ども・子育て支援事業計画
下関市次世代育成支援行動計画
下関市ひとり親家庭等自立促進計画
下関市こどもの貧困対策推進計画
下関市子ども・若者計画

実施状況



令和8年8月

下 関 市

目 次

■ 計画の概要

1. 計画の基本理念 1
2. 計画の基本視点及び基本目標 2・3
3. 計画の体系 4

■ 実施状況

基本視点① 子育て家庭を応援する環境づくり

～Ⅰ すべての子育て家庭をライフステージを通じて切れ目なく支える環境づくり～

1. こども・若者の権利擁護 6
2. 妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実 7
3. すべての子育て家庭への支援の充実 7

基本視点② こどもや若者を応援する環境づくり

～Ⅱ こども・若者の健やかな成長を支える環境づくり～

1. 就学前の教育・保育の総合的な提供 8
2. こども達一人ひとりの生き抜く力の育成 9
3. こども・若者と家庭が地域で学び・育つ環境づくり 9

～Ⅲ 支援を必要とするこども・若者と家庭を支える環境づくり～

1. こども虐待防止対策と社会的養護の推進及びヤングケアラー等への支援の充実 10
2. こどもの貧困対策の推進 10
3. ひとり親家庭への支援の充実 11
4. 障害のあるこどもへの適切な支援の充実 11
5. 外国につながるこども・若者と家庭への支援の充実 12

～Ⅳ 若者の希望する未来を実現する環境づくり～

1. 若者の自立や悩み・不安解消に関する支援の充実 13

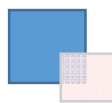
基本視点③ 地域や社会を変えるしくみづくり

～Ⅴ こどもの安心を支える地域の環境づくり～

1. 地域で子育てを支える環境づくり 14
2. こどもと子育て家庭が安心して生活できる環境づくり 15

～Ⅵ 子育てと仕事を両立できる社会づくり～

1. 子育てと仕事を両立するための支援の充実 16



計画の概要

1 計画の基本理念

こどもまんなか 地域でつながり支え合い みんなで育てるまち 下関

こどもまんなかとは具体的に以下のことを指します。

- すべてのこどもや若者が、保護者や社会に支えられ、生活に必要な知恵を身に付けながら
 - ◇ 心身ともに健やかに成長することができます。
 - ◇ 個性や多様性が尊重され、尊厳が重んぜられ、ありのままの自分を受け容れて大切に感じる(自己肯定感を持つ)ことができ、自分らしく、一人ひとりが思う幸福な生活ができます。
 - ◇ 様々な遊びや学び、体験等を通じ、生き抜く力を得ることができます。
 - ◇ 夢や希望を叶えるために、希望と意欲に応じて、のびのびとチャレンジでき、将来を切り開くことができます。
 - ◇ 固定観念や価値観を押し付けられず、自由で多様な選択ができ、自分の可能性を広げることができます。
 - ◇ 自らの意見を持つための様々な支援を受けることができ、その意見を表明し、社会に参画できます。
 - ◇ 不安や悩みを抱えたり、困ったりしても、周囲のおとなや社会にサポートされ、問題を解消したり、乗り越えたりすることができます。
 - ◇ 虐待、いじめ、体罰・不適切な指導、暴力、経済的搾取、性犯罪・性暴力、災害・事故などから守られ、困難な状況に陥った場合には助けられ、差別されたり、孤立したり、貧困に陥ったりすることなく、安全に安心して暮らすことができます。
 - ◇ 働くこと、また、誰かと家族になること、親になることに、夢や希望を持つことができます。
- 20代、30代を中心とする若い世代が
 - ◇ 自分らしく社会生活を送ることができ、経済的基盤が確保され、将来に見通しを持つことができます。
 - ◇ 希望するキャリアを諦めることなく、仕事と生活を調和させながら、希望と意欲に応じて社会で活躍することができます。
 - ◇ それぞれの希望に応じ、家族を持ち、こどもを産み育てることや、不安なく、こどもとの生活を始めることができます。
 - ◇ 社会全体から支えられ、自己肯定感を持ちながら幸せな状態で、こどもと向き合うことができ、子育てに伴う喜びを実感することができます。そうした環境の下で、こどもが幸せな状態で育つことができます。

2 計画の基本視点及び基本目標

基本視点 子育て家庭を応援する環境づくり

基本目標Ⅰ すべての子育て家庭をライフステージを通じて切れ目なく支える環境づくり

- すべてのこども・若者が幸せな状態(ウェルビーイング)で暮らせるまちを目指します。
- こども・若者の権利に関する施策の充実と普及啓発の強化を図ります。
- 安全な妊娠・出産、育児不安の軽減、発達支援等、妊娠・出産期から子育て期までの支援を、ライフステージを通じて切れ目なく推進します。
- 学童期・青少年期から成人期に向けた健康づくりの支援を推進します。
- すべての子育て家庭が地域で安心して子育てができるよう、子育て家庭が抱える不安・負担感の軽減を図るための支援や体制の充実、情報提供の強化を図ります。

基本視点 こどもや若者を応援する環境づくり

基本目標Ⅱ こども・若者の健やかな成長を支える環境づくり

- こどもが家庭において健やかに養育されるよう、保護者を支援します。
- 乳幼児期の重要性や特性を踏まえ、こどもの発達や家庭の状況など、それぞれに適した質の高い教育・保育を安定的に提供するため、こ幼保小の密接な連携のもと、幼児期の学校教育・保育の充実や幼稚園教諭、保育士等に対する研修等の充実を図ります。
- いじめや犯罪・非行の防止対策など、こども・若者の健全育成に関する施策の充実を図ります。
- 次代の下関市を担うこども達が生き抜く力と豊かな心を育み、また、家庭を築きこどもを生み育てることの意義と喜びを理解することができるよう、教育環境の充実とともに、親や地域の子育て力を高めるための意識啓発や学習機会の充実を図ります。

基本目標Ⅲ 支援を必要とするこども・若者と家庭を支える環境づくり

- 支援を必要とするこども・若者と家庭への包括的支援体制づくりを推進します。
- こども虐待を防止するため、相談や支援の充実及び地域の関係機関の連携強化を図るとともに、地域が虐待に気づき、支援につなげるための啓発を推進します。
- 家庭での養育が困難なこどもへの社会的養護の推進を図ります。
- ヤングケアラー等への支援を強化します。
- こども・若者の貧困対策に関する施策の充実を図ります。
- ひとり親家庭等の自立を促進するための施策の充実を図ります。

- 障害のあるこどもが健やかに成長できるよう、早期発見・早期療育体制の充実とともに、相談支援や障害福祉サービス等、こどもと家庭を支える支援の充実を図ります。
- 外国につながるこども・若者と家庭への支援の充実を図ります。

基本目標Ⅳ 若者の希望する未来を実現する環境づくり

- 若者の自立支援や、悩み・不安を抱える若者への支援を強化します。
- 結婚を希望する若者への支援を強化します。

基本視点 地域や社会を変えるしくみづくり

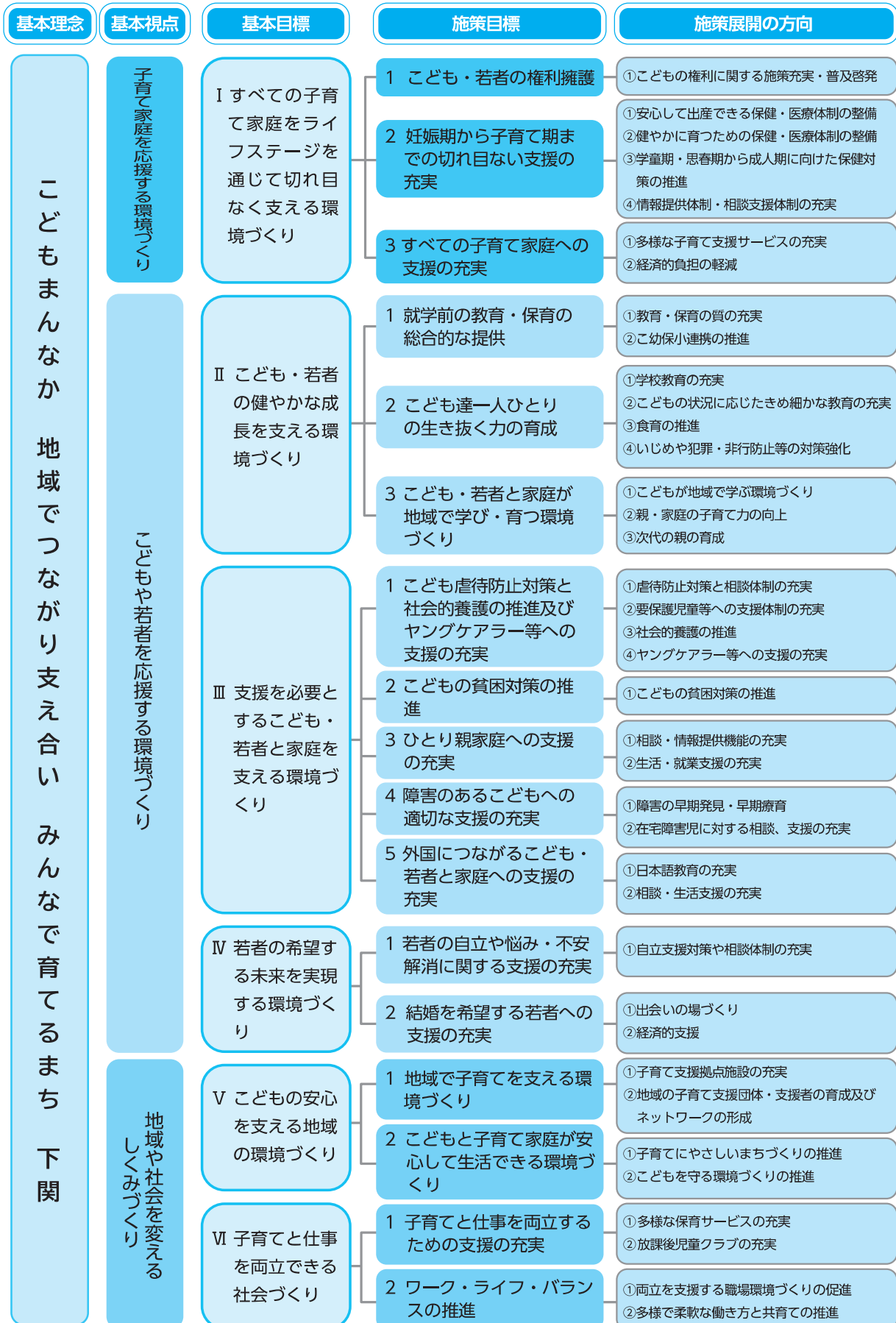
基本目標Ⅴ こどもの安心を支える地域の環境づくり

- すべての市民が下関のこども達の成長を見守り、子育て家庭を支援する、地域が一体となった子育て支援体制づくりを推進します。
- こどもが快適な環境の中で生まれ育ち、のびのびと活動できるよう、住居、遊び場を含めた地域の生活環境等の整備を推進するとともに、事故や犯罪からこどもを守るための環境づくりを推進します。

基本目標Ⅵ 子育てと仕事を両立できる社会づくり

- 教育・保育へのニーズを的確に把握し、認定こども園や幼稚園、保育園等の教育・保育事業の提供量の拡充を図るとともに、多様な保育の充実を図ります。
- 共働き家庭等のこどもが、安全に健やかに放課後を過ごせるよう、放課後児童クラブの充実を図ります。
- 子育てと仕事の両立を支援する職場環境づくりのための事業主への働きかけ、ワーク・ライフ・バランスの意義や働き方の見直しについての意識啓発を図ります。

3 計画の体系





実 施 状 況

基本 視点 ①

こどもまんなか 地域でつながり支え合い みんなで育てるまち 下関

子育て家庭を応援する環境づくり

《基本目標Ⅰ》

すべての子育て家庭をライフステージを通じて切れ目なく支える環境づくり

施策目標 1. こども・若者の権利擁護

実 施 事 例

- 施策 こども・若者への意見聴取
- 事業概要 声を聴かれにくいこども・若者に対して、利用したり生活している施設等を訪問した上で、意見を言いやすい雰囲気づくりを行い、意見を引き出すファシリテーターを交えて意見聴取を行い、適切に意見表明者に対しフィードバックします。
- 目標項目 こども・若者への意見聴取の継続実施

実施内容(R7年度)		実施予定内容(R8年度)
子育てイベントの機会等を活用して意見聴取を実施 ＜事 例＞		若者の意見把握に努めるとともに、得られた意見を今後の施策や取組の改善に活かし、適切なフィードバックを行う。
こども・若者アンケート	子ども食堂やインターンシップに参加した小・中・高校生、大学生を含む18歳以上の若者を対象(187人の回答)に、身近な近所の大人に、『してもらってうれしかったこと』、『してもらいたいこと』を尋ね、調査結果を「こどもまんなかネットワーク会議」の研修に活用し、地域の子育て支援関係者の活動の参考とした。	
子供パブリックコメント	下関市学校給食施設再編整備計画のパブリックコメントとあわせて、中学生を対象にタブレット等(Web)を活用した子供パブリックコメントを実施した(382人の回答)。	

施策目標 2. 妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実

実施事例

- 施策 こども家庭センターを中心とした相談支援体制の充実
- 事業概要 個々のケースに適切に対応できるよう、こども家庭センター、保健センター、子育て支援センター等において、各種相談機能の充実を図ります。また、相談機関の周知を図るとともに利用しやすい体制を整備します。
- 目標項目 こども家庭センターを中心とした相談支援体制

実施内容(R7年度)	実施予定内容(R8年度)
・妊娠・出産・子育て期の各種の相談に対し、こども家庭センター、保健センターや公立子育て支援センター等において相談を実施 ・関係機関、支援団体等へのリーフレット配布や市ホームページ等により、周知を実施	こども家庭センター、保健センターや各子育て支援センター等による相談支援を実施するとともに、相談機関の周知に努める。

施策目標 3. すべての子育て家庭への支援の充実

実施事例

- 施策 多様な保育サービスの充実
- 事業概要 延長保育や休日保育、病児・病後児保育等の多様な保育サービスや幼稚園における一時預かりの充実を図ります。
- 目標項目
 - ・病児保育事業/延べ利用人数・箇所数
 - ・延長保育事業/実人数・箇所数

実施内容(R7年度)			実施予定内容(R8年度)
《病児保育事業》	箇所数	利用者(人)	令和8年度から病児保育の利用料を免除することで、保護者の経済的な負担の軽減を図るとともに、引き続き、多様な保育サービスの提供を実施する。
病児・病後児対応型 (市実施型)	4	2,372	
病児・病後児対応型 (企業主導型)	4	1,124	
体調不良児型	5	1,627	
《延長保育事業》			
II型のみ	37 (公立6箇所 私立31箇所)	1,497	

こどもや若者を応援する環境づくり

《基本目標Ⅱ》

こども・若者の健やかな成長を支える環境づくり

施策目標 1. 就学前の教育・保育の総合的な提供

実
施
事
例

- 施策 教育・保育の提供体制の充実
- 事業概要 子どものための教育・保育給付（施設型給付費等）により、認定こども園、幼稚園、保育園等の充実を図ります。また、インクルーシブ保育や乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）に取り組みます。
- 目標項目 教育・保育の提供状況（利用定員数）

実施内容(R7年度)	実施予定内容(R8年度)
・適正給付実施のため、給付システムの構築、導入に着手 ・こども誰でも通園制度を試行実施 (9 施設／認定 55 人)	・給付システムの運用を開始し、引き続き適正な給付の実施に努める。 ・こども誰でも通園制度の本格実施。

施策目標

2. こども達一人ひとりの生き抜く力の育成

実施事例

○施策 食育の推進

○事業概要 下関市の食育推進計画「第4次下関ぶちうま食育プラン」に基づき、こども達が「食」を通じて健やかな身体と、豊かな人間性を育むことができるよう学習機会を充実するとともに、地域の関連団体と連携した取組を推進します。

○目標項目 園・学校における推進／食育の仕組みづくり

実施内容(R7年度)	実施予定内容(R8年度)
・栄養教諭の巡回指導を通じた食に関する指導(231回/年) ・食育推進ボランティアによる講話・食育実践活動(4回/年・参加者351人) ・朝ごはん3チャレンジの実施 ・各園による食育年間計画に基づく教育の実施	各事業を実施し、食育推進ボランティアによる講話や食育実践活動を通じて、こどもたちの食や農業漁業に関する理解が深まるよう支援を継続する。

施策目標

3. こども・若者と家庭が地域で学び・育つ環境づくり

実施事例

○施策 常設の居場所づくりの推進

○事業概要 こども・若者が安心して過ごせる居場所として、食事の提供や学習支援、生活習慣を整えるための支援や相談対応などを行う常設の拠点づくりを推進します。

○目標項目 児童育成支援拠点事業/利用人数

実施内容(R7年度)	実施予定内容(R8年度)
居場所を2拠点開設した。 (利用者 延べ1,903人/2拠点) (令和7年4月 「ぬっく垢田」 令和8年2月 「ぬっく安岡」)	拠点を継続して運営していくとともに、2拠点の実績と地域事情も踏まえ、拠点の増設を検討する。

《基本目標Ⅲ》

支援を必要とするこども・若者と家庭を支える環境づくり

施策目標

1. こども虐待防止対策と社会的養護の推進及びヤングケアラー等への支援の充実

実
施
事
例

- 施策 要保護児童対策地域協議会の機能強化
- 事業概要 要保護児童対策地域協議会において、要支援児童、要保護児童及びその家庭または特定妊婦等に対し、関係機関と連携して対応します。また、協議会実務者への研修の充実や調整機関職員の専門性の強化により、協議会の効果的な運営と機能強化を図ります。
- 目標項目
 - ・個別ケース検討会議の開催/回数
 - ・実務者会議の開催/回数

実施内容(R7年度)	実施予定内容(R8年度)
個別ケース検討会議の開催(43 回/年) 実務者会議の開催(53 回/年)	個別ケース検討会議や実務者会議を開催し、協議会の効果的な運営と機能強化に努める。

施策目標

2. こどもの貧困対策の推進

実
施
事
例

- 施策 生活支援の充実
- 事業概要 貧困の状況にあるこどもと保護者が抱える生活上の様々な問題に関する相談・支援の充実を図るとともに、こどもと保護者が社会的に孤立することがないように、子どもの居場所づくりや必要な支援につなぐ体制整備を推進します。また、家庭の生活基盤を支えるため、各種手当の支給や助成等の経済的な支援を行います。
- 目標項目 地域こどもサポート事業の推進/状況確認ができたこどもの数

実施内容(R7年度)		実施予定内容(R8年度)
・地域こどもサポート事業 訪問支援(37回/年・4家庭10人) ・各種手当の支給等		継続して訪問支援を実施し、必要な支援につなぐ体制を整備するとともに、各種手当の支給や助成等の経済的な支援を行う。
	支給人数(人)	
児童手当	196,446	
児童扶養手当	25,491	1,174,066

施策目標 3. ひとり親家庭への支援の充実

実施事例

- 施策 子育て・生活支援の充実
- 事業概要 ひとり親家庭が子育てと仕事を両立することができるよう、幼児期の教育・保育や放課後児童クラブ等の優先的な利用に配慮します。また、ひとり親家庭の状況に応じた多様な保育サービスや子育て支援の充実を図ります。
- 目標項目
 - ・幼児期の教育・保育や放課後児童クラブ等の優先的な利用への配慮
 - ・多様な保育サービスや子育て支援の充実

実施内容(R7年度)	実施予定内容(R8年度)
・保育施設への入所や、放課後児童クラブへの入会にあたり、ひとり親家庭の児童が優先的に入会できるように審査基準点の加点を実施 ・ひとり親家庭の状況に応じて、相談対応や適切な関係機関につなぐ。	・ひとり親家庭の子育てと仕事の両立を支援するため、放課後児童クラブの受け皿を拡充を推進する。 ・ひとり親家庭の状況に応じて相談対応や適切な関係機関へのつなぎを行う。

施策目標 4. 障害のある子どもへの適切な支援の充実

実施事例

- 施策 障害児や医療的ケア児の保育の推進
- 事業概要 一人ひとりの障害の種類・程度に応じ、家庭や専門機関との連携を密にしたきめ細かな保育を実施します。
- 目標項目 障害児や医療的ケア児の保育の推進

実施内容(R7年度)	実施予定内容(R8年度)
・私立保育所等における障害児保育に対応するため「特別支援保育事業費補助金」により、加配職員の人件費を一部補助を実施 ・私立保育所等における医療的ケア児の受入を促進するため、受入体制支援補助金を創設(申請実績なし)	補助制度の周知、受入れ体制の一層の充実に努める。

施策目標 5. 外国につながるこども・若者と家庭への支援の充実

実施事例

- 施策 子育て支援・生活支援につなぐための支援の充実
- 事業概要 外国につながるこどもとその家族が教育・保育や子育て支援、その他の支援を円滑に利用することができるよう、通訳者、情報端末等を活用した相談、情報提供の充実を図ります。
- 目標項目 子育て支援・生活支援につなぐための支援の充実

実施内容(R7年度)	実施予定内容(R8年度)
20以上の言語で相談できる「やまぐち外国人総合相談センター」(山口県設置)において、134件の外国人住民の様々な相談に対応した。	相談の窓口等に関するチラシを作成し、転入手続き時にチラシを配布することにより、相談窓口を周知する。

こどもや若者を応援する環境づくり

《基本目標Ⅳ》

若者の希望する未来を実現する環境づくり

施策目標

1. 若者の自立や悩み・不安解消に関する支援の充実

実 施 事 例

- 施策 地域におけるこどもの見守り強化
- 事業概要 子どもの居場所や地域と連携して、不登校などの課題を抱えているこどもの状況確認を行い、必要な支援につなげる取組を推進します。
- 目標項目 子育て支援・生活支援につなぐための支援の充実

実施内容(R7年度)	実施予定内容(R8年度)
・こどもや子育てを地域で支える体制の強化を目指し、市内の子どもの居場所づくりに関わる運営者、子育て支援関係者で集う、こどもまんなかネットワーク会議を開催し研修、意見交換を実施(2回/年、計80人参加) ・子どもの居場所や地域と連携し、こどもや家庭の状況を確認し、支援を実施	子どもの居場所や地域と連携し、引き続き必要な支援につなぐ取組を推進する。

基本 視点 ③

こどもまんなか 地域でつながり支え合い みんなで育てるまち 下関

地域や社会を変えるしくみづくり

《基本目標Ⅴ》

こどもの安心を支える地域の環境づくり

施策目標

1. 若者の自立や悩み・不安解消に関する支援の充実

- 施策 地域子育て支援拠点事業の充実
- 事業概要 子育て家庭が相互に交流を行い、子育てについての相談や情報の提供、助言などを行う場の充実を図ります。
- 目標項目 地域子育て支援拠点事業/延べ利用人数・箇所数

実
施
事
例

実施内容(R7年度)		実施予定内容(R8年度)
・地域子育て支援拠点事業		子育てについての相談体制や情報提供の充実を図る。
施設名	利用人数(人)	
私立（7箇所）	8,710	
公立（5箇所）	11,572	
ふくふくこども館	48,886	
親子ふれあい広場	4,167	
子民家「こどもの宙」	3,002	
子民家「こどものとなり」	3,188	
こどもはらっぱ	6,564	
内「ふくふくこども館」・「親子ふれあい広場」・「こどもはらっぱ」の3箇所で利用者支援事業を実施し、関係機関との連絡調整等を行うことで、支援が必要な家庭に対し、専門的・的確な支援を行った。		

施策目標 2. こどもと子育て家庭が安心して生活できる環境づくり

実
施
事
例

○施策 雨の日に遊べる場の提供

○事業概要 ふくふくこども館や児童館の情報提供の充実や、公民館などの地域の既存施設活用により、雨の日に利用できる遊び場の充実を図ります。

○目標項目 雨の日に遊べる場の提供

実施内容(R7年度)	実施予定内容(R8年度)
利用者サービスの充実や照明設備のLED化を実施し、こどもが雨の日でも快適に遊べる環境を充実させた。	ボールプールのボールの更新、シャワーパンの新設などサービスや設備の改善を行い、天候に左右されずに利用できる遊び場の充実を図る。

《基本目標Ⅵ》

子育てと仕事を両立できる社会づくり

施策目標 1. 子育てと仕事を両立するための支援の充実

実
施
事
例

- 施策 放課後児童クラブの充実
- 事業概要 放課後における小学校児童の健全育成を図るため、地域の需要を踏まえた放課後児童クラブの量的な拡充に努めるとともに、施設設備の環境改善など安全・安心な環境の整備に努めます。
- 目標項目 放課後児童クラブの利用人数

実施内容(R7年度)	実施予定内容(R8年度)
・放課後児童クラブ 2 箇所において、それぞれ教室の振替、タイムシェアの拡充により、定員を 49 人増員した。 ・空調設備の更新を行った。(9 箇所)	待機児童が発生する放課後児童クラブにおいて、学校の余裕教室の確保により定員の拡充を行うとともに、補助金制度の構築による民間事業者による放課後児童健全育成事業への参入を促進する。 また、耐用年数が経過している空調設備を対象に更新を行う。

